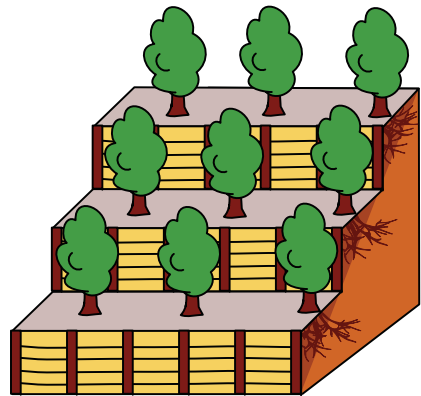
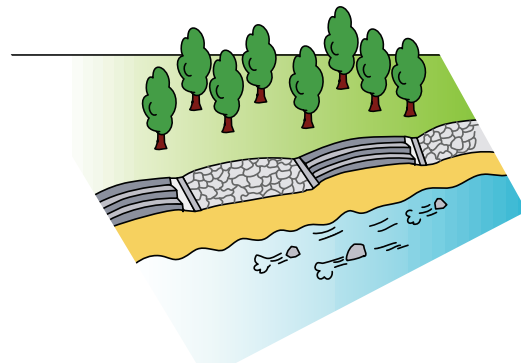




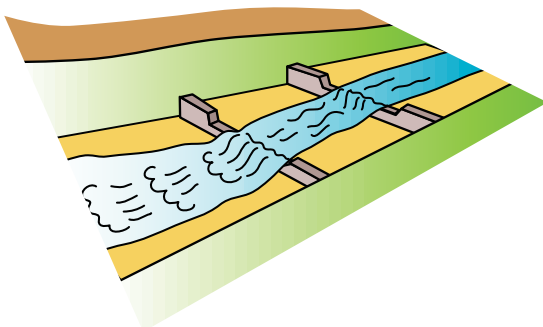
土砂災害や洪水を防ぐためにも、いろいろな施設をつくっているよ。



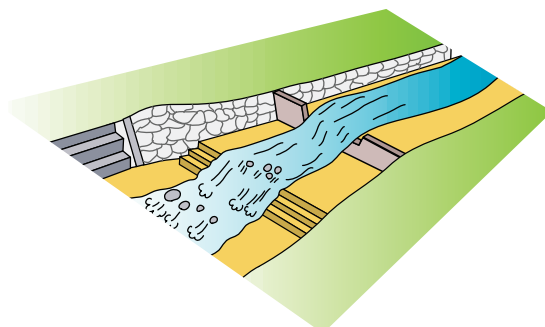
①山のしゃ面をくずれにくくする(山腹工)



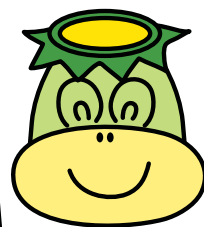
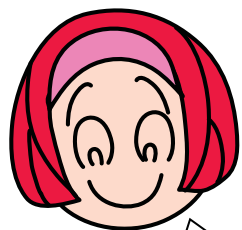
②川の岸が流されるのを防ぐ(護岸工)



③川底にたまっている土砂が流れ出すのを防ぐ(床固工)



④川岸を守り、川底の土砂が流れるのをへらし、洪水を防ぐ(渓流保全工)



砂防施設は、山地や平野など
いろいろな所でかつやくしているんだね。

考えてみよう！「土砂災害」が多いわけ

日本で土砂災害や洪水がよく起こるのはなぜかな？
みんなも考えてみてね。



うーん、
どうしてかな～？

考えたことを書いてみましょう!!



実はね、日本では山地など、土砂災害や洪水などの起こる場所が多いんだ。それにもかかわらず、そういう場所に住む人がふえたから、いろいろな所で対策がひつようになるんだよ。



住む人があらかじめあぶない場所かどうか知るのも大切なことなんだば。そして、あぶない所には住まない方がいいんだばね。



「土砂災害(揖斐川町小津地先)」